

# お天守だより

丸岡観光ボランティアガイド広報誌

第6号

## 久々に入城待ちの行列！

会長 大霜 徹夫

丸岡観光ボランティアガイド協会は今年十一年目を迎えました。現在会員数は三〇名を超えています(実働者はその半分ほどですが)。丸岡城のガイドは大半がお天守に集中しており、ガイド料は無料で、会員がガイドを行う日や時間は自由になっています。やり方も自主性を重んじ、各自が好きな場所で自分に合ったスタイルで、おもてなしを楽しんでいます。《現在、会員募集中です！》あなたも気軽にやってみませんか!?

この二年間、コロナで観光客が半数以下になり寂しかったお天守でしたが、この春から徐々にお客が戻り、今年のゴールデンウィークは各県ナンバーで駐車場が一杯になり、お天守前広場にも久々に入城待ちの行列ができました。



写真は5月4日の午後

## 丸岡城築城に光秀関わる

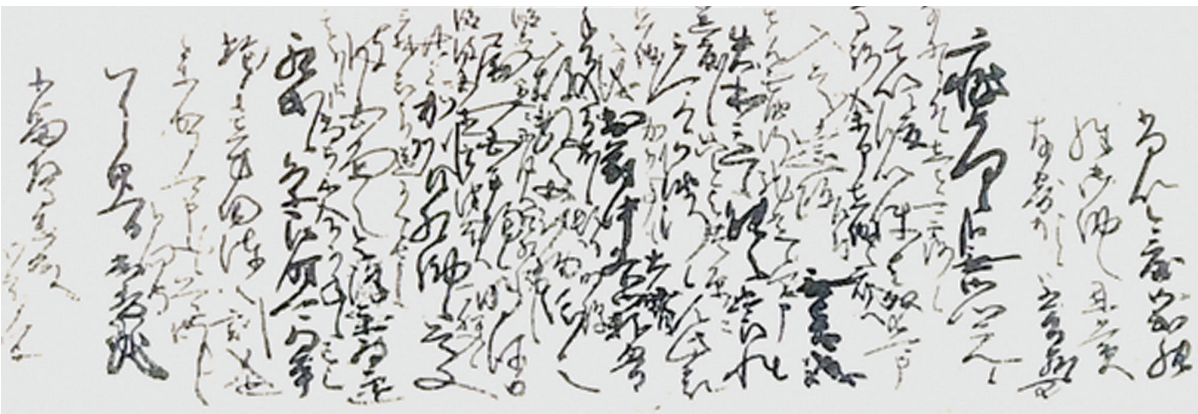
副会長 松本盛博

天正三年(一五七五)八月の越前一向一揆殲滅戦で、織田信長は一揆勢の拠点となっていた豊原寺(現丸岡町豊原)を焼き払い、越前を平定した。この戦いに、明智光秀は信長の家臣No.1として参戦していた(注)。光秀は称念寺門前に十年居住していたことで、豊原の地理を熟知し、戦いの指揮をとっていたと考えられる。焼き払い後信長軍団は、一向宗徒の見張り台として、豊原山城(砦)を造り始めたが、翌年には柴田勝豊がマルコの丘(現丸岡城の場所)に移築し、平山城の丸岡城天守を築城した。当時、難攻不落の山城築城が主流の時代に、急遽平山城に変更した背景には、平山城築城の名手であった光秀の指導助言があったのではないかと推察される。

また丸岡城天守台の野面積み石垣は、光秀が琵琶湖畔に坂本城を築城(一五七二年)した際の石工(穴太衆)を呼び寄せて積まれたと考えられる。

(注) 光秀が豊原在陣中に、丹波の小島左馬進に宛てた書状(天正三年八月二十一日付け)が存在する。(大阪青山歴史文学博物館所蔵)

光秀の書状(小島左馬進宛て)…内容は「只今豊原に在陣中、平定して、三日には加州(石川県)へ移動する。これも平定容易で、その後丹波へ帰る。」と戦果報告と今後の動向を伝えている。



## お城EXPO2021 in横浜

町矢芳夫

二〇二一年十二月十七日から二泊三日の予定で、研修と見学をかねて、横浜アリーナに向けて出発しました。コロナはまだ続いているので、初めはどうか心配しましたが、無事に着きました。会場に入ると、なにか江戸時代戦国時代にタイムスリップした感じでした。

一日目は、丸岡高校地域協同部の生徒さんと一緒に、福井県丸岡城の説明アピールをするため、パンフレットなど配布しました。又、一番人気のある買物バッグ、家紋入りのマスクは、お客さんは「オシャレ」と買ってくださいました。あるお客さんで、丸岡城は東北でしょうと言う方もおられました。福井の知名度がまだまだだと思いました。

二日目は大勢の人で、大変忙しい日でした。午前中は、パンフレット、アンケートなどを配布、城の中で一番行ってみた城は、の回答で、福井県越前丸岡城と勝山恐竜博物館(?)との回答もありました。

三日目は、我が町のシンボル丸岡城の紹介を、丸岡高校の生徒さんがステージで話をしたり、質問を聞いたりしました。

二年後福井に新幹線が敦賀まで開通します。城ファンがますます多くなると思います。

越前丸岡城ガイドとして、丸岡城へ行ってよかったですとお客さんから言われる様に頑張ります。



ガイド体験談

「またお会いしましょう」

佐藤よし子

観光に来られる方々との出会いは一期一会と思い、大切にしています。

丸岡城は現存天守ならではの古風な佇まいがとても魅力的で、何度でも来ていただきたいので、ガイドのあとには、「またお会いしましょうね」とご挨拶してお別れします。初めは再会することとは想像していなかったのですが、今年の四月に、昨年ご案内したお客様から「お城の桜が綺麗だと言ってたけど、もう咲きましたか？」とのラインが来て、満開の写真を送ったところ、「とても綺麗ですね、また行きたいなあ。」との返事をいただきました。城内の階段は、六十七度の急角度のため大人でも怖く、小さなお子様の中には泣き出す子もいます。怖い印象のまま帰ってほしくないのです、花丸シールを渡して「大きくなったらまた来てね」と言うと、ニッコリ可愛い笑顔になってくれてホッとすることも。先輩方のような立派なご案内はまだまだ出来ないのですが、お客様の思い出に残る旅のお手伝いが楽しみになっています。

新たな挑戦

西川文代

退職して時間が出来たので、かねてより憧れていた丸岡城ボランティアガイドに参加させてもらいました。

豊原寺や不明門はじめ、本多家や有馬家のお墓のあるお寺等を見学させてもらい、これからのガイドに活用しようと思っております。入会した時はコロナ患者も少なかったのですが、個人の観光客に案内して『楽しかったわ、ありがとう』と言われて嬉しくなりました。でも心臓はドキドキでした。その後コロナ患者が増えてきて活動中止になり、私の一夜漬けの知識では言葉が出てこなかったりするので、自分なりのガイドブックを作ってみました。それでも先輩方のガイドを拝見させてもらうと自信がなくなり、勉強不足を痛感します。

丸岡城の勉強をしていくと謎が増し、過去にタイムスリップして見たいと思う時があります。一階の丸岡城城郭の模型を説明させてもらう事があるのですが、朝倉遺跡の様に再現出来るかと素晴らしいと思います。

私達は『丸岡城において』と歌う「おじゃれ保存会」で文化祭や伝統芸能祭にて歌や踊りを発表しています。

これからもっと丸岡城の魅力をお伝え出来る様に、しっかり学んで早く一人前のガイドになりたいと思っています。

丸岡城ガイド・こぼれ話

水野信好

観光客からよく尋ねられる質問をQ&A集にした「ツワブキの花」から今回は地震にまつわる話題二つを紹介いたします。

+++++

⑤丸岡城天守は地震で倒壊したのに、それでも既存？

昭和23年6月の福井大地震で、

天守をはじめ丸岡町のほとんどの建物が倒壊し街の中心部で火災が発生しましたが丸岡城への延焼は免れました。震災後使用可能な古材を保管し、昭和25年8月に国の重要文化財の指定を受け再建が始まり昭和30年に完成しました。このことから丸岡城天守は地震で倒壊したのに、それでも現存？とたまに聞かれます。

ほとんどのお城で全面的に解体して修理を行っています。解体している期間も文化財の指定は解除されないはず。丸岡城でも戦前の昭和15年に解体修理がなされ、その6年後の地震によるものは強制的な解体修理という解釈をしています。ここで、建物の部材にダメージを負ったものの燃えなかったのが現存の決め手といえます。天守内部は結構補修した柱がありますので、その辺も、

⑥丸岡城天守は国宝から重文に格下げされていますが大地震のせい？

注意深く見られたらおもしろいかもありません。ちなみに丸岡城内説明石碑では古材8割使用を謳っていますが、実際もっと少ないのではと感覚的に思います。現在の姫路城の修理でも部材を大胆に取り替えていますから数字にこだわる必要はないのですが。

昭和25年(1950)の文化財保護法の制定により国宝は全て重要文化財になりました。丸岡城天守の再建時期がちょうど重なったため大地震の倒壊のせいにされがちですが、他の現存天守も同じ重要文化財になりました。その中から特に優れている4城(後に5城)が国宝として選ばれたのです。

丸岡城天守は昭和25年8月29日に重要文化財に指定され再建工事がスタートしました。旧材が横たわっている状態で重要文化財に認めてもらったわけです。文化財保護法が制定される前は国宝で申請準備をしていたようですが、制度変更による重要文化財の申請でおさまった形になりました。重文でも十分とよくダジャレでますが、現在の国宝の4城(後に5城)とはやっぱり違いますよね。